

2017年2月21日

各位

SBSフレック株式会社

ウェブサイトにも3温度帯物流の最新事例を一挙掲載 ー共同配送、モーダルシフト、工場内物流、温度帯変更など5事例ー

食品物流のSBSフレック株式会社（社長：渡邊誠、本社：東京都墨田区）は、本日、自社ウェブサイト（<http://www.sbs-flec.co.jp/>）に、共同配送やモーダルシフトなど最近のお客様ニーズにお応えした5事例を追加し、掲載事例数が16件と一層充実しましたのでお知らせいたします。



SBSフレックは、北海道から九州まで約70か所に事業拠点を有し、食品メーカー様、卸事業者様の工場・センター間の輸配送や入出荷作業、納品先様への配送業務などを通じて、冷蔵、冷凍、常温、定温の食品を全国各地に日々お届けしています。

当社のウェブサイトでは、食品メーカーの低温物流をDNAとしている当社の3温度帯物流の強みやサービス、ソリューション事例を紹介しております。今般、最近のお客様ニーズにお応えした事例を一挙に5件作成し、掲載いたしました。

追加したモーダルシフト事例は、工場から遠距離の小売業のセンターやデポにトラック輸送されていたフローズン食品をフェリーに変更したものです。お客様は、環境負荷の軽減や輸送コストの削減といったメリットを享受されました。



フェリーを活用した輸送でコスト削減

また、共同配送事例では、工場からチルド飲料を小売業のセンターに輸送する際に、当社物流センターを経由して他のNBチルド飲料などと積み合わせたものです。お届け先の共通する複数の製品を共同配送することで、トラック台数の減少（＝ドライバー不足対策）、積載率の向上などで配送コストの削減に貢献できます。

今回追加掲載した事例は、次の5つです。タイトルをクリックしていただくと当該事例ページが開きますので是非、ご覧ください。

1. [カップ飲料を工場～センター間で共同配送](#)
2. [コンビニ向け氷菓を全国配送、フェリー活用で環境負荷軽減](#)
3. [工場内物流のアウトソーシング、原材料荷受けからライン投入、製品出荷](#)
4. [冷凍品を冷蔵品に温度帯変更、適温解凍して表示ラベル貼付](#)
5. [加工工場から食材を集荷して店舗に供給、3温度帯で一括配送](#)

SBSフレックは、創業以来60年。低温物流一筋で培ったノウハウと温度帯管理技術をベースに従来の輸送や配送方法を根本から見直し、コスト削減はもとより環境負荷軽減や人手不足問題を解決するご提案とその実現に努めてまいります。

以上

■ご参考

<SBSフレック株式会社概要>

本 社：東京都墨田区太平4丁目1番3号 オリナスタワー

代 表 者：代表取締役社長 渡邊 誠

創 業：1956年（昭和31年）

親 会 社：SBSホールディングス株式会社（持株比率65.99%）

資 本 金：2億18百万円（2016年12月末現在）

売 上 高：431億円（2016年12月末現在、SBSフレックグループ連結）

従業員数：2,799名（2016年12月末現在、同上の正社員及びパート等含む）

事 業 所：北海道から九州まで全国に約70拠点を設置

関係会社：SBSフレックネット(株)

事業内容：旧雪印物流(株)の時代から約半世紀にわたって食品の低温物流を全国ネットで展開しています。2004年にSBSグループ入り。同グループの食品・3温度帯物流事業のコア会社として、食の安全をしっかりと守る物流品質で全国のお客様に輸送・保管・流通加工・センター運営などをご提供しています。また、物流全般を一括でお引き受けする3PLサービスにも注力しております。

U R L：<http://www.sbs-flec.co.jp>

■本件に関するお問い合わせ先

SBSフレック株式会社 営業開発部 TEL：03-3829-2058

■本件に関するマスコミからのお問い合わせ先

SBSホールディングス株式会社

I R・広報部 TEL：03-3829-2240/e-mail：contact11@sbs-group.co.jp

※ 当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。